



岳南朝日新聞社

〒418-0033

富士宮市野中東町46-1



総会の様子

日本高校会議所が総会 各地の高校などが活動発表 オンラインで意見交換

日本高校会議所（市川杏会頭・星陵高校3年）の第8回総会が15日、Zoomを使ったオンラインで開かれた。富士宮市西町の西

町レトロ館には、富士宮高校会議所メンバーと須藤秀忠市長らが参加した。各地の高校生がそれぞれの地域の活動を発表し、専門アドバイザーが助言を伝えた。

来賓の須藤市長は「若い世代が自分の住む地域に目を向け、まちの将来について考え、行動を起こすことは重要。実践するビジネス活動や環境負荷低減への取り組みは、それぞれの地域に新たな風を吹き込んでいる。」

高校生の視点と柔軟な発想で皆さんのまちに明るい未来を届け、挑戦する活動の輪が広がることを期待する」とエールを送った。

引き続き、常葉大学付属菊川、県立三島北など8校のほか、富士宮高校会議所がそれぞれの活動を発表。アドバイザーとして文部科学省の林教子さん、大正大学の福島真司教授、東洋大学の佐野浩洋教授、法政大学の清水裕子講師、(有)勝又製茶代表取締役の勝又共生さん、オブザーバーとしてイーハトーブ・エコミュージアム総合研究所の今橋克寿さんが参加した。

このうち静岡農業高校は「フラワースの現状と対策について」として発表。弁当はフードロス対策でこども食堂などへ利用される

が、生花店等で発生する切り花は食べ物と違い捨てられ、その経済損失はかなりの額に上ると訴え、発表後はアドバイザーと意見を交わした。

参加者はオンラインを通じて活発な質問や意見交換を展開し、活動の充実と交流を深めた。